



海のたより



9月早朝－佐久島レース
久々の優勝に向けフィニッシュ直前のオデッセイ

目次	行事予定
表紙 佐久島レース P 2 久々の優勝、オデッセイ P 3 各艇のコメント、成績表 P 4 9月スモール、 デニスコナーTRS-B優勝、ベベ	10月16日 LMYC & MCC 合同レース MCC 秋のチャンピオンシップ 10月30日 JSAF チャンピオンシップ 11月5-6日 JSAF チャンピオンシップ 11月13日 LMYC & MCC 合同レース 11月20日 スモールクルーザーレース

オデッセイ スタの優勝

前回の優勝からずいぶん年月が経ってしまいました。年とともにセールはどんどん痛んでくるわ、クリート類も劣化がひどくなるわ、さらにはメンバーの加齢が追い討ちをかけ戦闘能力は下降の一途であります。もちろん今回のエントリー艇の中ではレーティングが最も低い老船ですから、あまり期待はしていないというのが正直なところでした。そんな中今回の優勝は、この艇もまだまた走るじゃん！と思わせてくれるレースでした。

昨シーズンは特に上り角度が悪いことを気にしつつ放置してきた反省から、シーズン前にフォアステーのテンションを少し上げてみました。整備日にダンシングさんがみえたのでちょっと艇にあがらせていただき、その感触を参考にテンションを上げてみただけですが、それでも今シーズンは昨年にくらべ極端に上り負けすることがなくなったようです。それは航跡データを見ても顕著に現れている感じです。セールはくたびれてきていますが、これだけが今年のプラス材料といったところでしょうか。

さて今回のレース、スタートは微妙なアングルの風向きでしたが当初「スピンで行こう」との意見もあったものの、やはり苦しく NO.2 ジブで穏やかなスタート。直後のスピードが無かったために、上後方から来た勢いのあるホーネットに風を奪われてやむなくコースを落とし、スピードを確保するためセールトリムに専念。その後はまずまずのスピードとポジション、悪くない感触で追走。

次第に後続艇も追い上げきたのでスピニアップ、ちょっと手間取る間にセレスティーンに迫られるが、あがってしまえばスピンの効果で再度引き離しに成功、その後先行艇と同様に潮流ブイ手前でスピンが辛くなり我慢して走らせるのがちょっと大変でしたが、甲斐あって差のない3番目で回航することができました。

潮流ブイから佐久島の南までの下りのスピランは風のアングルが厄介で、このパターンはスピードに乘れず他の艇に離されることが多い角度。レイラインに近いコースを取りたいが、真ランに近くなるため差を広げられる心配もありホーネットのコースを追走。後半、次第に北へ向かうアルミスのコースに近づきたかったが艇速が他艇より遅くちょっと無理だった。

この間に一番南寄りのコースでスピードを上げてきたセレスティーンには抜かれ、さらにうらなみにも追い付かれて絡み合う展開に。やはり下りのコースは鬼門かと思われたが、抜かれはしたものの終わってみればこのレグの頑張りが優勝に結びついたと言っても過言ではなかったと思います。

生田鼻へ向かう段階でレーティング通りの最後尾とはなりましたが、まあこれは仕方ないこと。ただこの後、少しずつ差が開くのかなあという思いはありました。生田鼻回航直後にはジブハリのクリートの緩みに気がつかず、先行するうらなみより上り角度をかなり落としてしまいちょっとロス。

暗雲が立ちこめて来た感がありましたが、その後の数回のタックを繰り返す中で他艇との差が広がっていない

ことを実感でき、レグ中盤でレイラインに乗った時は、艇上も「行けるかも!」という雰囲気になっておりました。

ただ、その後は少しづつヘッダーが入り、結局潮流ブイにはそのタックのまま辿りつくことはできず、こちらからはオーバーセール気味に見えていたセレスティーンがドンピシャで到達、ちょっと先へ行かれた感じとなり、ここでは4番目の回航となりました。もっともトップのアルミスとの艇回航時の時間差が想定内でしたので、ここで久々の優勝を確信することとなったのでした。

来月からは大嫌いなソーセージが続くので、ヒトも艇も衰えた老朽チームでどう戦うのか、またまた頭が痛いです。

みなさま、お手柔らかに。



MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号

9月早朝、佐久島レース、各艇のコメント



オデッセイ

〈クルーから〉

オデッセイに乗船して3年目、初めて優勝しました。

天候とメンバーに恵まれ今までに無い走りをして、2位以内は確実と思いました。

風速も7 m/sということもあり、ラッキーセブンで大変嬉しいです。

一句、「オデッセイ 凄いパワー 秘めながら ぐいぐい進む ラッキーセブン」

アルミス

スタートから豊橋ブイまで、途中でスピンを上げたがギリギリで上り切れた走りだった。

スピンを上げなくても良かったかもしれない。

生田鼻ブイ回航後、風が南に振れることを期待していたが、佐久島に他艇よりも突っ込むことで

その振れを早く得ることができた。それで前に出ることができた。



ホーネット

生田までは何とか1位をキープできましたが

豊橋までの上りで抜かれ、追いつかれてしまいました。

No2ジブ、風は10-15kなのでコンディションは良かったはずが

スピードに乗れるレンジ（ポイント）が少なく、全体的に走り負けかなという気がしました。



うらなみ

久々のうらなみでのレース参加

後ろを走っていましたが、久々のレースとしては、離されずまずまずのレースでした。

最後の豊橋ブイでトラブって離されましたが、楽しいレースでした。



名称	佐久島レース							
コース	S-小島-豊橋潮流-佐久西-生田-豊橋潮流-小島-F							
距離	31							
風速	5~9m							
スタート	7:00:00							
						(B)	(A*B)	
セール No	艇 名	TYPE	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	順位
4832	Odyssey	Tsuboi IMS950	0.980	12:16:23	4	5:16:23	5:10:03	1
4774	Armis 5	J/V9.6CR	1.012	12:08:07	1	5:08:07	5:11:49	2
5791	Hornet	Seam 31	1.013	12:13:44	3	5:13:44	5:17:49	3
3173	C'elestine	Seam 31	1.016	12:12:56	2	5:12:56	5:17:56	4
5404	Uranami 8	J92	0.988	12:23:00	5	5:23:00	5:19:07	5

MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号

9月スモールレース 優勝 バイキング



コメント	平成23年9月25日(日) MCCスモールクルーザーレース第6戦 曇り時々晴れ、絶好のセーリング日和。参加艇は はやぶさ・バイキングの2艇。コミッティーはホープ。ランニングでのスタート、竹島沖に打った風下マークを2往復。 第1レグは両艇ともにスピン不使用。最初の風下マークは はやぶさがリード。第2レグの上りでバイキングが逆転。第3レグの下りはバイキングが頑張ってスピンを揚げ、スタートでの遅れを取り戻し バイキングがファーストホーム&優勝							
名称	スモールクルーザーレース 第6戦							
コース	Sー風下マークーSリミットマークー風下マークーF							
距離	4							
風速	5~9m							
スタート	11:00:00				(B)		(A*B)	
セールNo	艇名	TYPE	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	順位
6499	バイキング	X79	0.885	11:51:09	1	0:51:09	0:45:16	1
6564	はやぶさ	Far727	0.861	12:00:36	2	1:00:36	0:52:11	2

デニスコナーカップ ベベ TRS-Bクラス優勝

第22回デニスコナーカップ：第一回は たしかデニスコナー本人がきたぜ、その時は俺たち {メリーサン} が優勝したんだ。

・・・とクルーの田中が徳利片手に豪語している時に (TRS Bクラス) 優勝の吉報がはいった。

朝から強めの風が吹いている。わが艇にとってはいいことだが、メンバーが少ないうえに皆 年だ。

なんの因果かメリーサンからもらったNO3~4ジブを使うことにした。三河湾の猛者25艇リコールなしの一発スタート。下からパラフレニアンにあおられはしたがいい位置どりができた。

14マイルの結構長いコース、後半少し風が弱まってきたのでセール交換しようとしたが、バウの都築の気持ちも弱くなっていてそのまま小さなセールでゴールまでいくことにした。

同じクラスの (ミストレル) が前を走っていて2分差以内でないとクラス優勝はできない、と計算の弱い都築が言うのでゴール前で焦ってしまいタックを5回もしてしまった。そのときだけ風が弱くセールが小さすぎてまったくのぼれない。約4分の差でゴール 2分以上のロス。終わり悪ければ3時間のレースの疲れがドット押し寄せる。消沈しながらまずいビールをのんでいたとき吉報が入った。



すっかり反省心はなくなり熱鬧に変更しての (この交換は早い) いつもどうりの宴会に。乾杯

MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号・MCC海のたより10月号